

第96号



社会福祉法人 弥富福祉会

特別養護老人ホーム 輪中の郷
 指定居宅介護支援事業所 輪中の郷
 デイサービスセンター 輪中の郷
 弥富市デイサービスセンター
 弥富市南デイサービスセンター

〒498-0000
 愛知県弥富市大藤町5番地3
 TEL (0567)65-5531
 FAX (0567)65-5536
 E-mail info@yatomifukushikai.com
 URL http://yatomifukushikai.com

新年のご挨拶



理事長 山田 耕一

明けましておめでとうござい
 ます。

社会福祉法人弥富福祉会を
 利用いただいています皆様方
 と、弥富市行政や医療関係者
 方々に、私共のスタッフ一同
 揃って、新年のお喜びを申し
 げます。

今年も利用者様に、真心をこ
 めて寄り添った対応をさせて
 いただき、精一杯の努力をして
 いる覚悟でございますので、ご
 支援ご協力の程よろしくお願
 い申し上げます。

さて、昨年2月9日から大韓
 民国(以後韓国と称します)東
 部平昌(ピョンチャン)で、冬
 季オリンピックが約2週間半開
 催されました。世界中から予選
 を勝ち抜いた92か国の選手が
 集い、日本からも10代の若者
 から40代のレジェンドまで、親
 子ほどの幅広い年齢層であつ
 ても、素晴らしい演技やわくわ
 くする競技の熱い戦いに手に汗
 を握ります。さらに日本のメ
 ダルは幾

つ取れるのだろうか、実況ア
 ナウンサーが声を大にして盛
 上げるたびに、目を皿のよう
 にして時差のない隣国からの生
 放送の画面に食付いていました。

スピードスケート競技の1位
 の日本選手と2位の韓国選手
 (テレビ画面では勝者・敗者と
 表現していましたが、私は世界
 2位の選手を敗者と呼びたくは
 ありません)が、自国の国旗を
 まとい抱き合う熱い絆の姿を、
 中継大型画面に釘付けにされ
 て「日本のスポーツは凄い」と確
 信したものでした。

そして昨年末の2018ユー
 キャン新語・流行語年間大賞
 に、カーリング競技の「そだ
 ねー」が選ばれて、同意と協調
 性からチームワークを高めて見
 事銅メダルを獲得しました。ほ
 ぼ一年前の競技が、さらに思
 い出深い忘れがたい大会とな
 っています。

また、その直後の3月10日か
 ら始まったパラリンピックで

は、障害を持った方々の大活躍
 に、心から敬意を表する場面が
 幾つもあつて、高齢であつても、
 身体が思うように動かない障
 害があつても、この利用者様
 の目は、他人事ではなく、自分
 がかも競技に参加しているが
 如きの眼差しで、落涙と笑顔
 が入り交じった顔でテレビに
 見入っていました。

その半年後、観測史上稀に見
 る停滞型梅雨前線の影響で、
 岡山・広島・愛媛などの大
 洪水、やっと梅雨が明けた
 と思えば、連日連夜猛烈猛暑
 の夏がやってきました。

見たことのない進路もあり連
 続台風の上陸で、甚大な被害
 で復旧が十分でない中、9月
 から10月にかけてインドネ
 シアで行われたアジア大会
 でも、ピョンチャン・オリ
 ンピックパラリンピックに
 勝るとも劣らない応援姿を
 拝見いたしました。重ねて申
 上げますが、身体は高齢(加
 齢)や病気の為、若い時のよ
 うに自由に自由に動かない
 も、精神的な気持ちはいつも
 青春時代そのものと受け止
 めさせて頂いています。

こうしたことから利用者様に
 接する態度にも、リスペクト
 (尊敬)した姿勢を忘れてはい
 けないと心がけ、胸に刻んで
 いたことでした。そして、我
 々社会福祉に関係する者にと
 つても、勇気と希望や感動を
 与えてもらえて、心が非

常に明るくなる場面の連続でありました。国ごとの競争から、競技者同士の友情のみならず、まさにスポーツがもたらす特別な効果、すなわち国際平和や健全育成、健康の保持増進の賜物と確信していたものでした。

話しは少しさかのぼらせて頂きますが、昭和38年(1963年)4月に日本体育大学ラグビー部は、韓国に約3週間5試合を計画して、単独チームとしては日本協会が初めて、日韓友好関係の第一歩を踏み出すという大きな目標の試みで派遣されました。時同じくして、野球やサッカーその他のスポーツ交流がトップランナーとして民間から広がり、日本と中国の国交のきっかけとなったピンポン外交の成果のように、実り始めつつあるとき、国と国との日韓基本条約や経済協力協定が昭和40年(1965年)に締結されて、国や企業及びスポーツ団体、さらに観光面でも交流が開かれてきて今日を迎えています。大げさではありませんが、言わせてもらおうならば、微力であっても「日韓友好の懸け橋」を作ってきた訳です。

私は大学2年生になったばかりで、日本代表選手としてカナダ・アメリカ遠征から帰国して1か月前空港に向けて飛び立ちました。見送りに来た後輩達が世田谷区

合宿所に帰り着くころには、すでに外国に到着という距離の近さと飛行機の速さでした。

白色のヘルメットにMPと黒色の文字が入った軍人さんが運転する、ジープのパトカーと白バイの先導で、未舗装の多い幹線道路を砂煙を巻き上げて、赤信号でもサイレンを鳴らして素通りして、私達を乗せた大型ボンネットバスは、国賓待遇以上の大歓迎ぶりだ。滞在するホテルに直行しました。

その夜からは、ソウル市長や政財界のトップレベルの方々が出席され、ラグビー関係者のレセプションが日本大使館公邸や高級ホテルで連続して行われました。代表的な歌アリランや、当時流行の歌ノーランシャツ(黄色いシャツ)を合唱するなか「日本とは仲良くして貰わなければならぬ」20歳になったばかりの若い大学生の手を握って「よろしく頼みます」「国に帰ったら、この状況を日本の皆さんに伝えて下さい」と、多くの方から何度も何度も言われたことでした。こうした熱烈に大歓迎をされたことを記憶していますし、当時の日記を見ても鮮明に蘇ってきます。

連日連夜の大歓迎のもてなしをされる中、第二戦壇国大学との試合中、一人に足首をつかまれ、二人に覆い被られて足をすくわれた

形で、宙を舞って右肩から硬い土のグラウンドに叩きのめされた。人生それまでに感じたことのない痛みを襲われて、流れ落ちる涙を必死でこらえて、ラグビーの試合なのに、まるでサッカーのゴールキーパーのポジションのように、自陣のゴールライン上に突っ立ったまま試合終了を待ちました。

現在は負傷交代が認められますが、当時は退場したら人数は少ない欠員のまま、試合続行でしたから我慢してピッチにいたわけです。ノーサイド(試合終了をラグビーではこう言います。すなわち攻撃するサイドが無くなった、敵味方無し、これからは仲良きの意味です)すぐさまジープのタクシーに乗せられて、ソウル市内の病院を廻りましたが、1963年5月5日は生憎日曜日で殆どの病院は休み、最後の望みでナシヨナル・メディカルセンターに運ばれて、レントゲンX写真を見せられましたら、なんと骨が斜めに折れていてペケ状にクロスしてしまいました。肩を後ろに引っ張られて応急処置はしたものの、韓国では手術に踏み切れず、ホテルで全試合が終わるまで、三角巾で右手を吊り、そのまま滞在して療養することになり、帰国後すぐ横浜の関東労災病院に入院して、手術を待ちました。

この手術の最中に、骨髄に通す電気ドリルのキリが骨の中で折れてしまい、「さあ大変だ」放射状に広がった各手術室から、ドクターやナースが駆け寄ってきて、局部麻酔で意識が有りますから、激痛で大暴れる私の手足どころか胴体までを押さえつけられて、さらにベルトで縛り上げられました。痛みで、「もう殺してくれ」と、悲鳴を上げるのも無視されて、折れたキリを残してはいけないとむっと太いキリで、ハンマーで叩き出そうと連打されました。あまりの痛さに暴れまわるので、あろうことか手術台が「ボキッ」と音をたてて折れてしまい底抜けの状態になりました。横から見ればV字バランスの宙吊りになってしまいましたので、手術台を交換して再び手術再開。ドクター達も真剣であったと思いきや、二度と味わいたくない痛さで、人生で忘れることが出来ない一幕でした。鎖骨骨折でオペ室に入って6時間以上もかかって出てきたのは、「珍しい患者さん」とベテランの看護師さん等に冷かされたものでした。

訪韓は今日まで、試合や観光と韓国代表選手のスカウトの為、10回になります。次に多いのが、ラグビーの本場ニュージーランドやオーストラリアの8回ですから、今までの海外渡航歴60回の中の

10回出かけていますので、第二の故郷とも言えそうです。

京城(ソウル)をはじめとして、太田(テジョン)、木浦(モツポ)、釜山(プサン)、大邱(テグ)、南北の軍事境界線(38度線)の板門店(パナムンジヨム)等、初回の遠征で骨折という忘れられない思い出がありますから、オリンピック中継画面を見る姿勢も尚一層の関心を持って、前かがみになり食付いていました。

大学卒業後就職についてから、も、来征チームの受け入れや、試合が出来なくとも差し入れ、そして在日韓国人チームや朝鮮高校との親善試合等、また遠征当時対戦した選手とのクリスマスカードのやり取りは、もう56年も続いています。ちなみに現在でも友人・知人を合わせますと、かるく100名を超えます。

ラグビーを通じての友情関係を日韓のテレビ局ディレクターが聞きつけて、合同でテレビドラマを作ろうと、資料集めを完了して訪韓日時を決めかけているうちに、私達が遠征当時考えられなかった、竹島・慰安婦・徴用工問題、そして北朝鮮の拉致・ミサイル・日本海での違法操業等が続出してきて、しばらくペンディング(保留)とな

り、友好の懸け橋を作ってきた者にとつては、非常に残念で複雑な思いがあります。一日も早く両国政府で解決をしてもらいたいものです。

話しはもう少しラグビーの事に触れさせていただきますと、今年のメインイベントは、なんとと言っても第9回ラグビーワールドカップ(15人制)が日本で開催されることです。12会場45ゲームが国内各地で開催されますが、愛知県では豊田スタジアムで4ゲームが組まれていきます。

9月23日(月祝) ウエールズ対ジョージア

9月28日(土) 南アフリカ対アフリカ地区代表

10月5日(土) 日本対ヨーロッパオセアニアプレーオフ勝者

10月12日(土) ニュージーランド対イタリア

そして来年2020年は、2度目の東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。オリンピックのラグビー競技は7人制、パラリンピックは車椅子ラグビーになります。世界の強豪選手が激突する凄さに興奮し、ワクワクする試合が目の前にやって来ますので、元気で皆様と楽しみに待ちたいものです。

最後になりましたが、海南病

院や歯科医師会等の医療関係の方々、民生委員の方々、J A関係の方々、地域の方々、そしてその他のボランティア活動等で支えてくださっている皆様方に、理事・評議員を代表しまして日頃の感謝を申し上げます。

利用者様やそのご家族様の方々の方々から、「家では出来ないことをやっていただきまして、本当にありがとうございます」と感謝と労いの言葉を頂いておりますが、この言葉に甘えることなく、今後も職員は各種研修会に参加して更なる研鑽を積み、満足度の高い介護施設を目指してまいる所存でございますので、ご意見ご要望も合わせてお願い申し上げます。

今年、平成最後の年、亥年が皆様にとつて健康で明るい良い年になりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

台所の薬草

「おせち食材」

一般的な三段重の「おせち」の一の重には、おとそを祝うための祝肴や口取りを詰めるそうです。

今回は、一の重の一部食材の縁起を紹介します。

「数の子」：ニシンの卵で、ニシン(二親)は卵が多い(沢山の子がでる)ので子宝や子孫繁栄を願う縁起物の食べ物です。

「田作り」：田を作るといふところに由来しています。昔、田んぼの肥料として乾燥したイワシが使われており、その田んぼが豊作だったことから豊作を祈願する食べ物です。

「黒豆」：黒色は道教において魔除けの色とされています。この一年まめ(まじめ)に働きまめ(健康)に暮らせるようにと邪気を払うことで、無病息災を願った食べ物です。

「たたきごぼう」：ごぼうは地中深く根を張ることから家(家族・家業)がその土地にしっかりと根を張って安泰にという願いが込められています。

おせちの食材には、色々な願いが込められています。今年は少しでも食べるときに思い出してみてはいかがでしょうか。

(星野芳江)



新春を迎えて



弥富市長 安藤 正明

あけましておめでとうござい
ます。希望に満ちた輝かしい新春を
迎えられたことと、心からお慶
び申し上げます。

平素は市政全般にわたり、深
いご理解とご協力を賜り厚くお
礼申し上げます。

さて、昨今は少子高齢化や単
身世帯の増加など、福祉を取り
巻く社会環境が大きく変化する
とともに、そのニーズも複雑か
つ多様になっております。

そのような中、貴法人におか
れましては、地域に根ざした施
設として事業を展開しておら
れ、本市の高齢者福祉向上に大
きくご貢献していただいております。敬意と感謝を申し上げます。

本市におきましては、「第7
期介護保険事業計画・弥富市高
齢者福祉計画」を昨年策定しま
した。引き続き、医療・介護等
の連携、認知症施策の推進、介
護予防・日常生活支援総合事業

の推進等、地域包括ケアシステム
の構築に向けた取り組みを推進し
てまいります。

要支援者等に対して効果的かつ
効率的に支援を行うよう、ささえ
あいセンター機能の充実を図ると
ともに、認知症予防教室やふれあ
いサロンの実施及びサポーター養
成講座を各地区で開催し、できる
限り住み慣れた所で自立した生活
を送ることが出来る地域づくりを
目指します。

更に、高齢化が進展する社会で
は、ライフスタイルの変化などに
より、ニーズも多様化していま
す。そのニーズに対応していくた
め、保健・医療・福祉が連携し、
質の高い総合的なサービスの提供
体制を整備し、「生涯健康、生き
活き、住み慣れた地域で安心でき
るまち やとみ」の実現に向けて
邁進してまいります。

また、障がい者支援につきまし
ては、「障害者差別解消法」が施
行され、2年目を迎える「第5期
障がい福祉計画・第1期障がい児

福祉計画」に基づき、障がいの
ある方が差別なく共生できるま
ちづくりに向け努力していきま
す。

その一つとして、障がいのあ
る方が地域の中で自立した生活
ができるよう、海部南部障害者
自立支援協議会と協力して、障
がい者グループホームの建設に
向け、事業者を積極的に支援し
てまいります。

今後とも市民一人ひとりの幸
せ向上を目指してまいりますの
で、皆様の一層のご理解とご協
力を賜りますようお願い申し上
げます。

終わりに、貴会の益々のご発
展と関係各位のご健康とご多幸
をお祈りいたしまして、新年の
ご挨拶とさせていただきます。



野球大会の結果



第23回愛知
県老人福祉施
設職員野球大
会の三回戦
が、10月10日
(水)に行わ
れました。
西春日井福
祉会ベース
ボールチーム
とは、4度目
の対戦になり
ます。

過去3戦は1勝2敗で、いずれ
も僅差での勝敗でしたが、今回は
勝負になったのは三回表までで、
力の差は如何ともし難く大差で敗
れました。
次回の第24回大会は、課題を克
服し捲土重来を期します。
(平川幸士)

▲三回戦(10月10日)

| | | | | | | | | | |
|---------------|---|---|---|---|---|---|---|---|----|
| 海部津島トリニティズ | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 計 |
| 西春日井福祉会ベースボール | 2 | 5 | 8 | 2 | × | | | | 17 |



中山秋祭り

10月7日(日)、晴天で少し汗ばむ陽気に恵まれたこの日、輪中の郷周辺の地区では、秋祭りが行



われまし
た。地区
の皆さん
は、朝か
ら山車を
引き、鉦
や太鼓を

叩きながら練り歩きます。その途中
で輪中の郷にも立ち寄ってくださ
います。もう恒例となりまし
た。

おかげさまで、住人さんもお祭
りに参加でき、秋空の下で響く鉦
と太鼓の音を堪能させて頂きまし
た。地区の皆さん、本当にありが
とうございました。

(寶泉忠之)



ハロウィンパーティー



10月31日(水)に、2階共同生
活課にてハロウィンパーティーを
開催しました。



パーティー
というこ
とで、皆
様の気
分を盛
り上げ
るため
に、職
員の仮
装をし
ました。
中では
男性職
員のオ
バケ

の仮装で
した。ホ
ールに
集まった
住人さん
の顔
目の前
での公
開メイ
ク。職
員の顔
へ徐々
にオバ
ケのメイ
クが施
され
始めると、
住人さん
からの
笑い声
が聞こ
え始め、
さらに
無毛の
ピカ
ピカ頭
に福笑
いのよ
うな目
、口
眉を貼
り付け
ると大
きな笑
い声へ
と変わ
っていき
ました。
完成し
たメイ
クのオ
バケが
近づい
ても、全
く怖が
る様子
はなく、
笑って
ばかり
の住人
さん達
でした。

その後は、イベントとしてパン
食い競争も行われ、住人さん達は
終始楽しそうでした。
ホールの壁面にもきれいに装飾
をし、準備の段階から皆さん楽し

く過ぎされたと思います。
次回も機会があれば是非ともオ
バケ役となり、喜んで頂ければと
思います。

(伊藤繁昭)



ボウリング 大会の結果



第20回愛知県老人福祉施設職員
ボウリング大会が、12月1日
(土) 知立イーグルボウルにて開
催され、我が法人からは2チーム
参加しました。

最初の主催者挨拶では、参加
チームが去年より減っているとい
うことでしたが、22チームで明る
く始まりました

試合前、私たちは「優勝」「ハ
イゲーム賞」を目標に、強い気持
ちで挑みましたが、いざ始まり
レーンに立つと、「どうかストラ
イクが出ますように」「絶対ハイ



スコアーをとって
やるぞ」などの気
持ちが入り交じっ
ていました。そん
な中、ストライク
が出る、仲間
の手をたたき喜び合
い、ピンが残って
しまうと悔しい気持ち
を前面に出
し奮闘してました。
しかし、隣
のチームが次々と
ストライクやス
ペアを出し、得点
を重ねていく姿
をみて焦ってしま
い、私たちの
ペースでボウリン
グが出来なくな
ってしまいました。
気持ちを切り替
えストライクを目
指し投げました
が、ピンが一本残
ったり、スペア
をとりにも外して
しまうこと
が多く、なかなか
スコアが伸び
ることはありません
でした。最終
成績は6位と12位
で、あと3点差
で5位に入賞と悔
しい結果でした
が、女子の個人
賞では見事、横
山真紀さんが「
ハイゲーム賞」
をとりまし
た。おめでと
うございま
す。来年こそは、
練習をしっかりと
して優勝を目指
そうと意気込
む選手たち
でした。

(大石章人)



SMILEレシピ

白菜と豚バラ肉の旨煮

今が旬の白菜を使ったトロミのついた、身体温まる煮物のレシピです。白菜はビタミンCの含有量が多いため、免疫力を高め風邪予防にも効果的です。



調理員
藤原帆風



材料2人分

豚バラ薄切り肉……………180g
白菜……………4分の1
片栗粉……………大1
水……………大1
塩……………少々

A

みりん……………大2
しょうゆ……………大2
水……………大2
中華スープの素……………小2

作り方

- ①白菜と豚肉は食べやすい大きさに切ります。
- ②片栗粉と水を混ぜ合わせて、水溶き片栗粉を作ります。
- ③鍋に白菜と豚肉、Aを順番に入れ、ふたをして煮立ったら弱火～中火にして5分煮ます。
- ④一度ふたをとり、全体をかき混ぜます。再びふたをして、さらに5分煮て、塩で味を整えます。
- ⑤火を弱め、水溶き片栗粉でトロミをつけて、完成です。



デイサービスセンター 輪中の郷

健康体操



平成の時代も残り僅かになりました。

皆様は何時代に生まれたのでしょうか？大正に生まれた方は、4時代を生きていることになります。次の元号はまだ発表されていませんが、どんな元号になるか楽しみですね。当センターでは、いくつもの時代を股にかけて長生き出来るように、月に5〜7日健康・口腔体操を、午後から30〜40分程行っています。ジョイスOUNDの機器を使用して、映像を見ながら運動や脳トレ及び歌を歌ったりしています。

運動は、美空ひばりさんの曲に合わせて踊ったり、リズムに合わせて手足を動かし、脳トレでは、記憶力を試す問題や間違いを見つける問題を行っています。歌は、昔懐かしい童謡や歌謡曲、演歌等を皆様で合唱しています。また、食事が美味しく頂けるよう顔の筋肉をほぐす等の口腔体操も行っています。

皆様が健康で長生き出来るように、今後も続けていきますので宜しくお願い致します。
(水谷和宏)



弥富市 デイサービスセンター

寸劇

11月13日(火)に寸劇「大きなかぶ」を行いました。今回の寸劇は、利用者様に見てもらったものではなく、一緒に参加して楽しんで頂くものでした。

このレクリエーションは初めて行うものなので、不安もありましたが、いざ始めてみると、皆様大きな声を出し、笑いの絶えない楽しい時間となりました。

利用者様にもたくさんのお役があり、その姿で登場して頂くことで、とても良い寸劇を作ることができました。



もちろん職員も配役があり、中には変わった姿や少し笑いのある姿など、楽しい時間を共有させて頂きました。これから寒い日が続きますが、体調に気を付けて元気で一緒に楽しい時間を作っていきましょう。
(神崎雄生)



弥富市南 デイサービスセンター

「あじがとつ」とつなぐ支援



当センターでは、機能訓練に力を入れ、自立支援の充実を目指しています。

生活での場面で、「できていたこと」「できるかもしれないこと」を考え、利用者様の機能を引き上げることが支援しています。

特に家事動作に力を入れており、洗濯物干し・拭き掃除・布団たたみ・掃除道具の片付け・ゴミ出しなどの家事動作に取り組んで頂いています。

洗濯物干し一つにしても洗濯物を取り出す↓運ぶ↓洗濯バサミで挟む↓取り込む↓片付けるなどの動作があります。

役割があることで、表情中心の変化もみられます。「手伝うよ」「私もやれることにはやるよ」「いいよこのくらいのこと」「他はないの」という言葉も多くなっています。これからの手段的日常生活動作としての機能訓練を行い、「できる活動」を増やし、利用者様の生きること全体を支援することを心がけていきたいと思えます。
(中村寿美)



健康フェスタ 駅伝大会に 参加しました

10月28日(日)、弥富市三ツ又池公園・子宝グラウンドで行われた、第9回駅伝大会に参加しました。

一般男子の部での出場で、5区間約15kmを5人でのタスキリレーです。当日は、雲ひとつない晴天で、走るのにはピッタリの天気でした。

私は高校までサッカーをしていて、体力には割と自信があったので、3km程ならと少し甘くみていました。そのため当日まで、走る練習など全くなしで本番を迎えました。一般男子のチームは4チ



ム参加でしたが、中学男子チームと一緒にスタートです。中学生には、頑張ればついていけるだろうと思います

たが、現役で運動をしている中学生たちは、すごく体力と持久力があり、最近運動をしていない私は、ついていくことが出来ませんでした。

今回、体力の衰えを身にしみて感じたので、休みの日などは少しは体作りをして、リベンジしようと思います。(宮田大輝)

なばなの里へ 行ってきました



11月5日(月)に、外出レクリエーションとして、「なばなの里」のイルミネーションを観に出かけました。

普段は昼間の外出が多い中、今回は夜間の外出ということもあり、住人さんや職員も新鮮な感じがありました。現地に到着し、色とりどりに照

らされた光に、皆さんの口々から驚きと感動の声が上がりました。また、イルミネーションのテーマである「日本の情景」の昔ながらの風景に懐かしさを感じていらつしやいました。帰りの車中では、「来てよかった。参妻かった。また来たい」と、参加された方々から喜びの声がかれました。

これからも住人さんや利用者さんが、楽しんで頂けるような外出を企画したいと思います。(岩間冨香)

亡くなられた方々

- ・加藤かず江さん 九十五歳 平成三十年十一月六日
 - ・川谷聰子さん 七十九歳 平成三十年十一月二十二日
- お二人のご冥福をお祈りいたします。

ご寄付ありがとうございました

10月1日～11月30日

- ・中山自治会様
- ・上山 久様
- ・中部善意銀行様
- ・小紅会様
- ・下村ます子様
- ・渡辺重明様

編集後記

あけましておめでとうございませす。いきなりですが、皆様は初夢を見られたでしょうか?

「大晦日から元日」「元日から二日」「二日から三日」と初夢には諸説あります。

「一富士二鷹三茄子」を見られた方は、新年を笑顔で迎えられるのではないのでしょうか。

そして今年、新年号への移り変わりの年です。新しい年号と共に、新たに何かを始めるのも良い機会かもしれません。

さて、今年の干支は「亥」です。亥には無病息災の意味があると言われています。その由来は、イノシシの肉には万病を予防する力があるとされているからだそうです。しかし、今年には病気になるにくい年とはいえ、無理をせず気を抜かず、お体には十分気をつけてお過ごしいただければと思います。

本年も弥富福祉会は亥にちなみ、全力で精進してまいりますので、よろしく願い致します。

(大津拓真)

